

平成19年度 経営協議会学外委員からの本学に対する意見等と対応状況

経営協議会	学外委員からの意見等	本学の対応状況
第1回 (平成19年6月26日開催)	<ul style="list-style-type: none"> 一方、大学としても魅力、存在感、都会の持っていない発信力を地域社会に示す必要がある。受験者数、卒業生の県内定着率など産業全体に関わることで、もっと存在感を示す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育担当理事室に広報タスクチームを置き、情報発信の在り方を検討するとともに、ホームページ等、具体のものについてサブタスクチームを設置し、実施している。
	<ul style="list-style-type: none"> 地域重視もよいが、もっとグローバルに世界的なことでの重要性も出していただきたい。県内からの進学率が高いことや近県からの進学者が多いことはよい面でもあるが、一方、外から見えていないことでもある。公正な競争の結果こういふことであればよいが、ローカルに閉じてしまわないようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 理学部及び工学部の個別学力検査前期日程において、愛知県名古屋市内で収容者数計350人の試験会場を設置した。 例年、東海北陸地区国立大学合同進学説明会(名古屋、金沢)に参加している。
	<ul style="list-style-type: none"> 高岡市文化財(御車山)の保存修理に関して、芸術文化学部の参加を得、地域と一体となって取り組んでいる。さらに高岡では万葉集の全体の1割が詠まれていることから、これについても人文学部等で研究領域に加えて取り組んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 高岡万葉歴史館の協力の下、平成20年度から、万葉講座を開設することとした。
	<ul style="list-style-type: none"> 医療(医師、看護師不足)問題など、自治体病院は非常に苦しい状況である。富山大学附属病院、県立中央病院が中心となって積極的にこの問題に対応していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 医学部医学科において、平成19年度入試から地域枠を導入した。また、医師確保対策の一環として、医学部医学科の定員を5名増員(平成21年度入試から特別枠を設定)する。(平成20年6月までに文部科学省へ定員増の要求を行う予定。) 地域医療に資する対策の一環として、看護学科入学定員増を検討するため、学長の下にタスクチームを設置し、検討している。
	<ul style="list-style-type: none"> 学生の就職活動の動きが早い。富山市では、採用内定後の辞退者が非常に多い。他の官庁を受験していることの兼ね合いもあるが、大学の方ではどこまで正確に把握されているのか。進路指導をよろしく願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 公務員試験対策講座を開設し、受験及び内定状況の把握に努めるとともに、重複内定を受けないよう指導している。
第2回 (平成19年9月25日開催)	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会との連携も必要であるが、富山大学の名前が全国に知られるような、地方区から全国区になるような、努力をして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育担当理事室に広報タスクチームを置き、情報発信の在り方を検討するとともに、ホームページ等、具体のものについてサブタスクチームを設置し、実施している。
第4回 (平成20年1月22日開催)	<ul style="list-style-type: none"> 国の緊急医師確保対策もあるが、医師不足・看護師不足への対応のため、医学科入学定員の5名増及び看護学科入学定員の20名増の検討を進めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療に資する対策の一環として、看護学科入学定員増を検討するため、学長の下にタスクチームを設置し、実質的な検討を開始した。
	<ul style="list-style-type: none"> 県では学会開催(国内、国際)に対して財政支援を行っている。積極的に県内で学会を開催していただき存在感を出して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 要望を教育研究評議会において報告。 平成19年は、日本薬学会(3月)、日仏医薬国際会議(5月)、臨床ウイルス学会(6月)、和漢医薬学会大会(9月)、日本社会文科学会全国大会(11月)などを開催した。
	<ul style="list-style-type: none"> 学部の枠を超えた組織再編、大学院の設置等、大胆な再編を行い、もう一段飛躍して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 組織再編検討委員会及びその下の学生教育組織検討部会、教員組織検討部会において、総合的な教育システムを構築するため、教育・研究体制の再編について検討している。
	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度以降の新規の知的クラスター事業については全国で3カ所程度の採択しか見込まれず、県単独での採択は困難であることから、富山県は石川県と共同して提出することにしたが、その枠組みの中で富山大学にも是非協力していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 要望を教育研究評議会において報告。